高校全国大会県予選の無観客開催理由について（高体連専門部の見解）

・私たちは、選手(生徒)の安全と努力の発表場所の機会確保を第一に考えています。
・全ての大会等の活動を中止にすれば大丈夫とは思っていません。

・新型コロナウイルス感染症は、収束していません。

・新型コロナウイルス感染症は現在、日本では、感染症法における「指定感染症」に該当しています。今なお、世界中で新型コロナウイルス感染症と戦っている最中です。ワクチン 2 回目の接種率も 65%程度になっているとは言え、ブレイクスルー感染が懸念されることや、高校生の世代はやっとワクチン接種が始まったばかりです。ここで警戒を緩めることはできません。新型コロナウイルス感染症が感染症の分類 5 類(季節性インフルエンザ)相当になること、治療薬の安定的供給、治療方法の確立などが、従来の運営に戻ることの条件だと考えています。

・現在、陽性者が一人でも確認されると、愛媛県の県立学校は学校教育活動を停止しなければなりません。濃厚接触者・接触者の特定には、かなりの時間と労力が割かれます。
・保健所から濃厚接触者と特定されると、検査し陰性でも健康観察期間 2 週間が設けられます。家族との接触もできません。学業への影響、精神的な影響、風評被害への対策など、計り知れない大変な思いをしなければなりません。まして、陽性反応が出た場合、後遺症の事を考えると、選手(生徒)、指導者、運営スタッフ(マッチオフィシャル)の安全を守るため、感染リスクを低減させる必要があります。
・ラグビーは大会期間が長く、第 6 波がいつやってくるかわからない状態と、競技性による管理の難しさなど、あらゆることを考えた中、大会途中で観戦者から陽性者が出て、大会自体が中止となることが最も避けなければならない事だと思っています。
・約 1 か月にわたる県予選を安全に決勝戦まで実施できるよう，リスクを最小限に抑えたく，また**昨年の花園での全国大会が完全無観客で開催された**ことに鑑み，ガイドラインの基本原則の 3　**試合と直接関係のない人の来場を避ける。**　こととといたします。

愛媛県高体連ラグビー専門部
委員長　小山田眞也

一部，正しくない表現となっていましたので，赤字部のように訂正いたします。
ご迷惑をおかけした皆様に対してお詫び申し上げます。